



# 子どもたちは 毎日に夢中です!!

## みず・すな・どろ のり・はさみ すみれ組

2020年度NO2 2020年7月10日 (金)

【10の姿】

健康な心と体

協同性

自立心

新型コロナウイルスの影響で、例年より遅れて始まった教育保育の日々でした。「早く慣れてくれるといいけど」の心配をよそに、たくましい子どもたちは遅れたペースを取り戻すのが早かった！6月の第4週からは、屋外では、はだしで「みず・すな・どろ」を楽しみ、室内では「のり・はさみ」を楽しんでいます。

今年のすみれ組は、1組は13名で、2組も13名。このため、1組と2組の部屋の仕切りをはずして自由に行き来できるようにし、みんなで一緒に取り組む活動も楽しんでいます。礼拝やホットタイムも一緒です。

普段は靴で楽しむ砂場やあそびの広場です。それが、はだしになれて足の裏の感覚も楽しめるのは、子どもたちの心をくすぐります。砂と水、土と水の組み合わせで、活動の幅をひろげましょう。時に、はだしを嫌がったり、汚れるのを嫌がる子もいるのですが、今年のすみれ組はたくましい。みんな楽しんでいます。だんだん「はだし」で遊べる場所が少なくなっている昨今です。足の裏からの刺激は、運動機能の発達にも欠かせません。大事です。こんなわけで服は汚れますが、「育ったしるし」です。お洗濯をよろしく！



水着に着替えて、園庭で水遊びを楽しみました。頭から足まで、全身ずぶぬれになって水を楽しみます。

ペットボトルのシャワーや、ホースに穴をあけてリングにした手作りのシャワーも登場です。頭から水をかぶることや顔が濡れることは、やがてプール遊びになったときにも活きるでしょう。洗顔やシャンプーも大丈夫です。



はさみやのりを使えるようになると、子どもたちの制作活動もぐっと幅が広がります。個人持ちの教材「のり」と「はさみ」をおろしました。初めてののりとはさみの体験です。切って、はって楽しめます。「指さき」の感覚も大事です。

数量・図形、文字等への関心・感覚

